## 4-11OS400のバージョンが変わった場合の手順は?

OS400 のバージョンが変わった場合、「ファイル転送」などで使用されている転送用のパラメータファイルの記述が合わなくなることがあります。そのためバージョンが変わったら、まずは現在のパラメータファイルが変更された OS400 のバージョンと合っているかチェックする必要があります。

はじめに「ファイル転送」を起動してオプション設定の[全体設定]タブを開き、「メンバーリストの転送時にメンバーの整理を行う。」のチェックボックスを確認します。もしチェックされている場合はパラ メータファイルの設定が正しくなるまで一時的にチェックを外してください。外し忘れると、メンバー リストのズレがあった場合に転送済みのメンバーソースが削除される可能性があります。

全体設定 」		
TIMENE X	ペノハーリスト   12/20 情報   目動置換設定   FIPハフターダ設定   対象外設定   LIB運動	4   3C.E.NR/2E
一時フォルダ	C:¥AS400DEMO¥tmp	別参照
クライアント	FTP転送 v 拢張子 TXT	
✔ 転送時につ	エンソールを表示する。 マメンバーリストの転送時にメンバーの整理	を行う。
□記動時にメ	ペンパーリストの転送確認を行う。 □メンバーリストの作成にDSPFDコマンドを	き用しない。
✔ 最新判定(;	に更新時間を使用する。  リンバーの更新日時が前回と異なる時(	転送対象とする。
□ 最新判定(3	に作成日と更新日の新しい方を使用する。	
接続情報の語	設定	
ホスト名	192.168.0.10	
ユーザーID	QSECOFR	
パスワード	******	
コードページ	日本語英数力ナ >	
ファイルシステム		
再接続数	0 🔿 🛪-ト 21 🌒	
「¥」記号	転送用コード(\$A5) ×	
✓パッシブモ		
		же ф.

次に「ファイル転送」で転送しているメンバーリストを削除します。削除はエミュレータなどを使用して行います。なおメンバーリストや保管先のライブラリが分からない場合、オプション設定の[メンバーリスト] タブを参照して下さい。

No. 1	カロライフラリ名 SRCLIB	元ファイル名 QCLSRC	QGPL	DEMOCL	DEMOCL	転送有無	
3	SRCLIB	QDDSSRC QDSPSRC	QGPL QGPL	DEMODUS	DEMODUS	v V	
4	SRCLIB	QPRTSRC OPROSPC	QGPL QGPL	DEMORRT	DEMORRT	− Þ	

最後に「メンバーリストの作成」および「メンバーリストの転送」を行います。転送後に「ファイル転送」の画面で転送されたメンバーリストにズレがないか確認します。

もしズレが発生している場合はパラメータファイルが現在の OS400 のバージョンと合っていないため、 この後の「パラメータファイルを調整するには?」を参考にパラメータファイルの設定を変更してくだ さい。

## 4-12パラメータファイルを調整するには?

Trinity を使って IBM i から PC に転送されたメンバーリストは、転送用のパラメータファイルを元に PC 側で閲覧できるテキスト形式のファイルに変換されます。パラメータファイルには転送を行うファイル のレコード長や項目の開始位置、名称、属性などが保管されています。

パラメータファイルの内容は IBM i のバージョンに依存するため、環境によっては正しく転送が行えない場合があります。そのような場合、ここで説明する手順に従ってパラメータファイルの変更を行ってください。

<mark>あ]</mark> セッション A - [24 x 80]	
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 通信(C) アクション(A) ワィンドワ(W) ヘルブ(H)	
スプール・ファイルの表示	
ファイル: QPDSPFD ページ/行	/52
制御桁	- 75
検索	
*+1+2+3+4+5+6	+7+
強制書込みレコード数 FRCRATIO *NONI	
最大ファイル待機時間 WAITFILE *IMM	ED
最大レコード待機時間 WAITRCD 60	
削除済みレコード許容最大% DLTPCT *NONI	
削除済みレコードの再使用 REUSEDLT *NO	
<u>コード化文字セット識別コード : CCSID</u> 502(	5
読取り操作可能 YES	
書込み操作可能	
更新操作可能 ALWOPD *YES	
前除操作可能・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
レコード様式レベルの検査 LVLCHK *NO	
アクセス・バス・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 判者	順
	IB
取人レコート長	5
ノアイルは現住ンヤーリル処理中・・・・・・・ NO アクセラ・パフ記述	
ノクビス・ハス記述	はノ
F2- 欸了 F12- 市当し F10- ナ F20- ナ F24- たーの结さ	市広へ・・・
$\Gamma_{12} = \pi_{12} + \Gamma_{12} = \pi_{11} + \Gamma_{13} = \pi_{12} + \Gamma_{24} + \Gamma$	
	03/022
1000 大数 十月 1010 M-h 23 を使用して リモート・サーパー/ルスト 192.168.0.240 に接続しました	

初めにエミュレータなどでメンバーリストの「最大レコード長」を調べます。

次に Trinity に戻ってオプション設定の [位置情報] タブを選択します。続いて [パラメータ名] の入力 エリアの右端にある [選択] ボタンをクリックします。

在称	位慶	EX [		
ライブラリタム	24	10		
ファイル名	14	10		
北バー名	178	10		
作成日	188	7		
作成時間	195	6		
更新日	516	7		
更新時間	523	6		
日本語名称	207	50		
種別	690	10		
レコード数	390	12		
最大レコード長	301	6		

パラメータの選択画面が表示されますので、パラメータファイル名を選択後にマウスの右ボタンをク リックしてポップアップメニューを表示させます。続いて【サイズ変更】をクリックします。

010	(F) 921F(K)			
No.		パラメータ名	Size	,
1	AS400FTP_DSPOBJ		689	
2	AS400FTP_DSPPGMRI	F	179	
3	AS400FTP_FileFld		1044	
4	AS400FTP_FileKey		127	
5	AS400FTP_File_SO		128	
6	AS400FTP_MBR		001	
7	AS400FTP_Membr	サイズ変更(S)	Ctrl+S	L
8	AS400FTP_Norm1	再作成(R)		L
9	AS400FTP_Norm1	VTAE 758 (C)	Cheluis	L
10	AS400FTP_Norm1	> Crox Create(C)	CONFE	I.
11	AS400FTP_Norm198		198	
12	AS400FTP_Norm80		80	
13	AS400FTP_Norm90		90	
14	AS400FTP_V3_Membe	er	201	
15	AS400FTP V4R3 DSP	OBJ	539	

サイズ設定ダイアログが表示されますので、[新しいサイズ]に初めに調べたメンバーリストの最大レ コード長を入力して[実行]ボタンをクリックします。確認メッセージが表示されますので[はい]ボ タンをクリックしてサイズ変更を確定します。

サイズ設定	×
現在のサイズ 903 新しいサイズ 903	
実行中止	

パラメータ選択画面の一覧で、レコード長が変更されていることを確認したら**[決定]** ボタンをクリックして完了です。

## 4-13OS400のバージョン毎にパラメータファイルを増やすには?

OS400 のバージョン毎にパラメータファイルを増やしたい場合、以下の手順でパラメータファイルを増やします。

初めにパラメータファイルをコピーします。ファイル転送にはパラメータファイルのコピー機能は用意 されていないので、Windowsのエクスプローラなどを使用してインストール先の「Winfd」フォルダを開 いてパラメータファイルをコピーします。メンバーリストの場合、パラメータファイルは 「AS400FTP\_MBR.PRM」もしくは「AS400FTP\_Member.PRM」です。

コピーするファイル名は必ず「AS400FTP\_xxxx.PRM」にします。そのため、分かりやすく 「AS400FTP V5R4 MBR.PRM」のようにOSのバージョンを付加するとよいでしょう。

あとはファイル転送の画面でコピーしたパラメータファイルに対して OS400 のバージョンに合った最大 レコード長を設定します。詳しくは 27 ページの「パラメータファイルを調整するには?」を参照して下 さい。